



岡井谷 颯大 さん 理学科 数学コース [4年]
大阪府立今宮高校出身

夢は教員。数学コースならではの講義で、人に教える喜びを実感

卒業生から聞いた魅力的な先生方のもとで学びたいと思い数学コースを選びました。大学数学はより厳密な理論を学ぶので、論理的思考力や問題を解決する力が身についたと思います。本に書かれているたった1行の内容が理解できないことも多々ありますが、折れずに自分の納得いくまで追求するよう心がけています。理論を学ぶうえでは議論が必須ですが、ここでは仲間と議論を交わす機会も多くあります。好きな講義は『数学講究(教員志望クラス)』。大学数学を人前で解説をするのはこの講義ならではの、1年生にわかりやすいと言ってもらえた時は本当にうれしかったです。今後は大学院で深く数学を学び研究し、将来は教員として生徒たちに力を身につけてもらいたいです。

【岡井谷さんの卒業研究テーマ】ベルヌーイ数とゼータ関数

岡井谷さんの時間割(1年次)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1				情報処理基礎	
2	微分積分学I	基礎物理学および演習	英語演習1	数学講究(1)	英語演習1
3	オーラルイングリッシュ1		健康とスポーツの科学		ドイツ語総合1
4		微分積分学II	線形代数学I	線形代数学II	
5		暮らしのなかの算数			基礎ゼミ1※

※現在科目名変更(旧科目名で表記)

目標とする 資格・検定

所定の単位修得で取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(数学/理科)
- 高等学校教諭一種免許状(数学/理科/情報)
- 理工学部共通
- 図書館司書
- ITパスポート
- 基本情報技術者

数学

一時代にとらわれない普遍的な学問一

古代ギリシャに端を発し、現代も発展を続ける数学。代数学・幾何学・解析学という純粋数学は、あらゆる科学技術の基礎として、またグラフ理論や暗号理論などの数学は、ネットワークが高度に発達した社会において、その実用的な運用や発展のために不可欠な存在です。当コースは、数学を専門に学べる高等教育機関として、理工学部開設当時から70年の歴史と実績を有しています。各方面にわたる数学研究の第一線で活躍している教員が、最新の研究成果に基づく充実した教育を提供します。

数学に夢を持ち、自らの力を信じて挑戦する人間の育成

当コースでは、数学を通して論理的思考力や総合的判断力、問題解決能力を身につけ、人生を自ら切り開くことのできる学生を育てます。そのため、教員から直接指導を受けられる少人数制のゼミや対話形式の講義、プレゼンテーションの機会を豊富に用意しています。こうして、従来の一方向の講義では困難な、学生の理解度に合わせた指導を実現します。3年次の「数学講究」(教員志望クラス)では、3年生が1年生の演習を補佐することで、教育実習を想定した実践経験を積む機会も提供します。

※カリキュラムは2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。 ※[]内の数字は単位数

カリキュラム

純粋数学から応用数学まで、対話型講義で学びます

専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
必修科目	数学講究(1)[2] 数学講究(2)[2] PICK UP! 1 線形数学(1)[4] 基礎解析学(1)[4]	数学講究(3)[2] 数学講究(4)[2] 数学講究(5)[2] 数学講究(6)[2]	数学講究(7)[2] PICK UP! 3 数学講究(8)[2]	卒業研究[8]	
選択必修科目				現代数学(1)[2] 現代数学(2)[2] 現代数学(3)[2] 現代数学(4)[2] 現代数学(5)[2] 応用数学(1)[2] PICK UP! 6 応用数学(2)[2]	
選択科目	基礎幾何学[2]	線形数学(2)[2] 基礎解析学(2)[2] 群論(1)[2] PICK UP! 2 群論(2)[2] 集合と位相(1)[2] 集合と位相(2)[2] 微分方程式論(1)[2] 微分方程式論(2)[2] 計算機実習(1)[2] 複素解析学(1)[2]	教科教育演習[2] 地学概論I[2] 地学概論II[2] 地学実験[1] データ構造とアルゴリズムI[2] オペレーティングシステム[2]	複素解析学(2)[4] 代数学(1)[4] 代数学(2)[4] 幾何学(1)[4] PICK UP! 4 幾何学(2)[4] 実解析学(1)[4] PICK UP! 5 実解析学(2)[4] 数理統計学(1)[2] 数理統計学(2)[2] 計算機実習(2)[1]	実験数理解析[1] 情報理論[2] 通信方式[2] データベース論I[2] 画像処理[2] ネットワーク工学[2] コンピュータグラフィックス[2] 組み込みシステム概論[2] 移動体通信工学[2] 情報と社会[2]

PICK UP! 1

数学講究(2)

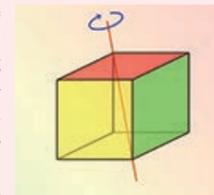
この講義では、線形数学・基礎解析学・基礎幾何学の演習問題に取り組みます。証明の技術を身につけたり計算のトレーニングをしながら理論の理解を深めます。正解を考えるだけでなく、誤りの原因や問題の背景を教員や学生同士で議論しながら演習を進めます。



PICK UP! 2

群論(1)

群とは演算を一つだけ持つ代数系です。足し算のみに注目した場合の整数全体や、図形の対称移動(移動や裏返しでもとの図形と重ね合わせられるような操作)も群をなしますが、他の数学的対象へ作用させることで、それらの性質がよくわかることもあります。群論を極めるとしてルビックキューブの解析も可能です。



PICK UP! 3

数学講究(7)

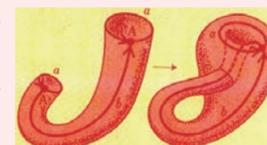
セミナー形式で専門書の輪読を行い、卒業研究を念頭に自ら数学を学ぶ力を養います。教員志望クラスでは、1年次の演習問題を題材に、数学の解説だけでなく、数学を教えることや授業の仕方についても学び、1年生の演習補助や黒板による問題解説を実際に行うことで授業体験をします。



PICK UP! 4

幾何学(1)

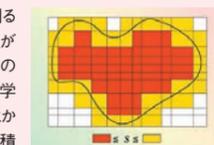
位相空間に複体の構造を定め、その複体のホモロジー群やオイラー標数などの位相不変量を計算します。図は「クラインの壺」の絵ですが、そのホモロジー群の計算のために完全系列という代数的手段を導入し、クラインの壺を含めさまざまな閉曲面のホモロジーを計算し、同相分類を行います。



PICK UP! 5

実解析学(1)

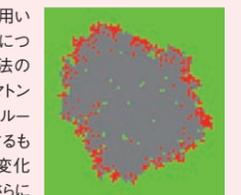
面積とは何か、いかに測るべきか、というのは、人類が数学と出会ったときからの問題です。私たちは小学校での図形の面積公式から高校や大学初年級の積分まで、面積に関する種々の数学を学びますが、厳密な数学理論のためには不十分です。本科目では面積の一般化といえる「測度」について学びます。これは実解析学(2)の「ルベグ積分」の理論の基礎となります。



PICK UP! 6

応用数学(1)

さまざまな現象を数学を用いて表現・解析する手法について学びます。学ぶ手法の一つであるセルオートマトンは離散的な値が特定のルールに従って時間変化するものです。非常に複雑な変化を示すものも多数あり、さらにランダム性をルールに取り入れることで、交通流や感染症、森林火災などの現象を再現することができます。



研究室紹介

位相幾何学研究室



4次元多様体に現れる
不思議な現象を中心に研究

佐久間 一浩 教授

この分野は、別名「ゴム膜の幾何学」ともいわれ、長さや大きさは無視し図形のつながりに注目して研究しています。3次元と4次元では5次元以上の世界にはない不思議な現象に出合えます。

応用代数学研究室



「おもしろいものは
必ず役に立つ」。
符号理論は基礎科学の
特質を表す

知念 宏司 教授

情報を正しく伝える仕組みである符号理論は、さまざまな数学的成果を取り入れた充実した理論です。数学理論としての符号理論、それに関する群論、環論など代数学を中心に研究しています。また、暗号につながる解析数論を研究しています。

計算代数解析学研究室



留数を中心として、
複素関数の不変量に関する
計算法を研究

中村 弥生 教授

計算代数解析の手法を用いて、留数やb-関数の研究をしています。とくに、孤立特異点の場合に関して、D-加群理論に基づいた計算法を研究しています。

結び目理論研究室



DNAに関する研究にも
応用される
近年高い注目を浴びる理論

鄭 仁大 准教授

結び目理論、および低次元(3、4次元)トポロジーを研究しています。結び目を数学的に調べるためには、多くの場合結び目の不変量を用いますが、不変量の代数的な性質と結び目の幾何的な性質の関係に興味を持って研究しています。

応用確率研究室



交通流や感染症の研究に
用いられる、デジタルな
確率モデルの解析

延東 和茂 助教

0や1などのデジタルな値が特定の規則に従って動くモデルをセルオートマトンといいます。この規則に確率を導入したデジタルな確率モデルに興味を持ち、数理構造の解析とその応用について研究しています。

多様体研究室



3次元トポロジーを用いて
さまざまな空間図形を
探究する

池田 徹 教授

3次元多様体は任意の点の周囲に3次元座標系を描ける空間です。全体の姿を見るのは難しいですが、空間や曲面を切ったり貼ったりして、対称性などの幾何的な性質を研究しています。

超局所解析研究室



構成可能関数の
ラドン変換の研究

松井 優 教授

微分方程式の研究から生まれた代数解析学が専門です。組合せ論的手法や超局所解析的手法を用いて、構成可能関数のラドン変換の反転公式や像の挙動を研究しています。

特殊関数研究室



関数を学ぶことで、
科学の無限の可能性を
体感できる

鈴木 貴雄 准教授

複素領域上の微分方程式、およびその解として定義される特殊関数について研究しています。特殊関数は純粋数学および応用数学のさまざまな分野とつながりのある、とても魅力的な研究対象です。

整数論研究室

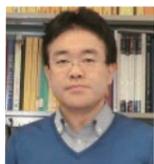


数の神秘を愉しみ、
解き明かす

田坂 浩二 准教授

研究分野は整数論で、これまで種々の多重ゼータ値の代数構造とそのモジュラー形式の問題への応用といった研究を行ってきました。最近では代数的数、q類似(q級数)、球面デザインにおける数論的な課題にも取り組んでいます。

群論研究室



圏論的な考察により
従来の枠組みでは
想像できなかった視点を

小田 文仁 教授

有限群とその表現の問題を、圏論的手法を用いて考察しています。群作用を持つ単体的複体、半順序集合、加群などを研究しています。

離散数学研究室



点と線からなる
グラフの構造を解明する

山下 登茂紀 教授

離散的な構造の多くはグラフとして記述でき、それらを扱うグラフ理論は離散数学の大きな研究分野の一つです。なかでも極値グラフ理論と呼ばれるグラフの部分構造と不変量の関係を研究しています。

数論研究室



多重ゼータ関数の
数論的研究

井原 健太郎 准教授

さまざまなゼータ関数の多重化について研究しています。多重のゼータ関数の値はもとのゼータ関数の値よりも豊かな性質を持ち、その値たちが張る空間の美しい代数構造に興味を持って研究しています。

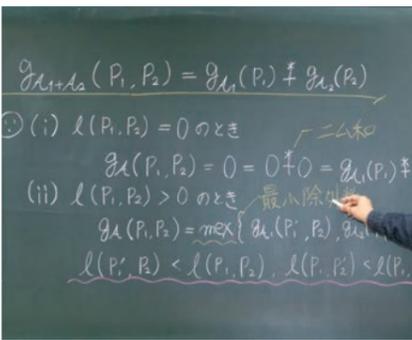
代数解析研究室



無限階擬微分作用素の
超局所解析的研究

小森 大地 助教

微分方程式の研究から発展した超局所解析学が専門です。擬微分作用素とは微分作用素を一般化した対象であり、これら対象を、考えている空間の各点に対して余接空間という新たな情報を付加する超局所的視点から研究しています。



※研究室は2025年度のもので、2026年度は変更になる場合があります。

卒論テーマ紹介

超局所解析研究室

微分方程式を用いた感染症拡大モデルの研究

微分方程式の理論と数値計算を用いて、感染症感染者数の未来予測について研究を行っています。単純な感染モデル、ワクチンによる感染収束モデル、ワクチンと再感染による振動モデルなどを扱ってきました。これまでは、微分方程式を応用した、追尾システム、経済拡大モデル、地震波の研究なども行っています。

応用代数学研究室

暗号と整数論

整数論が応用されている技術に暗号があります。これは第三者に知られないよう情報を伝えるための技術で、インターネット、高速道路のETCシステムなど、いろいろな場面で用いられています。卒業研究では、前半で整数論の基礎と代表的な暗号の原理を学び、後半ではより進んだ理論として2次元の整数論を研究しました。

特殊関数研究室

分割数と特殊関数

ある自然数を自然数の和として表す方法は何通りあるかという「分割数」の問題は、これを解くための重要な道具である母関数を媒介として特殊関数論と深くつながっています。卒業研究では、まずq二項定理やロジャース・ラマヌジャン恒等式といった基本的な式について学び、次にそれらのさまざまなバリエーションについて研究しました。

多様体研究室

多様体の幾何とその周辺

トポロジーで扱う図形である多様体には、曲面や結び目、グラフなどのさまざまな題材があります。卒業研究では、これらに関連する話題のなかから研究テーマを選び、図形の種類や対称性などの理論を学びます。今年度には、微分方程式を応用した、追尾システム、経済拡大モデル、地震波の研究なども行っています。

計算代数解析学研究室

特殊関数としての超幾何関数

超幾何関数は、無限遠点を含む3つの特異点を持ち、3つのパラメータを用いて、常微分方程式の解・べき級数展開・積分表示などの形で表現される複素関数です。卒業研究では、それぞれの表現に伴う基本的な性質および扱い方を学んだうえで、特殊関数としての立場に注目して、超幾何関数の満たす関数等式や特殊値について研究しました。

数論研究室

ゼータ関数と素数

リーマンの研究したゼータ関数は、素数の神秘を宿した関数です。気まぐれに見える素数分布の情報や、整数のなす環に単項イデアルしかないことなど、さまざまな数論構造がゼータ関数の性質からわかります。卒研ではゼータ関数を複素関数として導入し、解析接続や関数等式、またゼータ関数の値とヘルムハイム数との関係などを研究しています。

群論研究室

有限群とその表現

群の構造の研究の道具の中に、その表現や指標と呼ばれるものがあります。とくに、有限群の指標は既約指標の線形和として一意的に表されることから、その全体に積構造を入れて考察することにより、いろいろな定理が証明されてきました。置換表現のテンソル積に関する可換環の原始べき等元を特徴づける部分群について研究しました。

離散数学研究室

離散構造の解析

離散数学に含まれる分野として、グラフ理論・数え上げ組合せ論・離散幾何・離散確率などがあります。卒業研究では、四色問題を中心に、同値である彩色問題、帝国問題や和音彩色について研究しました。さらに、グラフ理論に現れるアルゴリズム、とくに、最小全域木を得るアルゴリズムに関して研究しました。

結び目理論研究室

結び目の数学

日常生活のいたるところに現れる「結び目」に関連する数学について研究しました。今年度の卒業研究では、さまざまな多項式不変量を用いた結び目の分類について学びました。とくに、ジョーンズ多項式やアレクサンダー多項式では分類できない結び目の無限系列について学び、それらをQ多項式を用いて分類しました。

TOPICS

「教えることは学ぶこと」3年生が1年生を指導する数学講究(教員志望クラス)



数学講究(教員志望クラス)は、教員になりたい学生をサポートするために教育実習を想定し、教員の指導の下で3年生が1年生の教育を補助する専門カリキュラムです。「教えることは学ぶこと」をモットーに、3年生が課題の演習問題を解説する授業を練習、翌週1年生の教室に向き、実際に机間巡視による個人指導や黒板を使った授業を行います。単なる数学の内容の解説だけではなく、数学を教えること、授業の仕方について学びます。声は出ているか、板書は見やすいか、ノートに頼り過ぎているかなど教員による評価をもとに、改善点のフィードバックが行われるため、どの学生も回を重ねるにしたがって授業がうまくなっていきます。

将来の進路

教員、大学院進学、幅広い分野の企業就職など多彩な進路

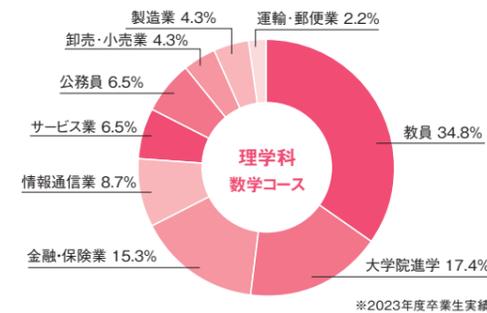
理学科数学コースの特徴の一つに、教員や大学院への進学を希望する学生が多いことが挙げられます。実際に、数学コースの学生の半数以上が教員や教育関連の企業に進むか、大学院に進学しています。一方で、多くの学生が企業へ就職しており、情報通信業、金融・保険業、製造業、公務員など、さまざまな分野でその知識とスキルを生かして活躍しています。データ解析やIT技術の進展により、数理的な知識を持つ人材への需要が高まり、それに応じた採用を進める企業が増加すると見られ、活躍の場がますます広がるのが期待されます。

主な就職・進学先

情報通信業	NTTデータグループ/NECソリューションイノベータ
金融・保険業 サービス業	関西みらい銀行/紀陽銀行/池田泉州銀行/りそなグループ/総合警備保障
公務員・教員	和歌山県庁/滋賀県庁/長浜市役所/三木市役所/東京都教育委員会/大阪府教育委員会/大阪府教育委員会/兵庫県教育委員会/奈良県教育委員会/和歌山県教育委員会/東大阪市教育委員会/八尾市教育委員会/箕面市教育委員会/池田市教育委員会/河内長野市教育委員会/岸和田市教育委員会/関西金光学園/追手門学院/清明学院高等学校/明德学園/大阪産業大学/大阪学院大学
大学院進学	近畿大学大学院/神戸大学大学院/大阪教育大学大学院/関西学院大学大学院

※2022・2023年度卒業生実績(順不同)

業種別進路先



※2023年度卒業生実績